

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重点的取組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名		建設部	都市・建築局	都市計画課
予算科目	予	会計	01	一般会計
	算	款	02	総務費
	科	項	01	総務管理費
	目	目	12	生活交通対策費

事業名	地域公共交通再編事業	事業開始年度	平成 22 年度
	生活交通の利便性の向上	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市生活交通再編計画 (平成23年3月)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整える。（生活交通として最低限の運行確保）

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	・生活交通再編計画に基づき、バスの再編を行う。 ・廿日市市公共交通協議会を開催する。 ・沿岸部バス実証運行を継続する。	交通事業者	・行政とともにバスの再編に取り組む。

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

- ・廿日市市公共交通協議会の開催（公共交通施策に係る関係機関の合意形成を図る）
構成員：学識経験者、住民代表、交通事業者、国、県、関連市等（年4回程度開催予定）
- ・沿岸部バス実証運行の継続
沿岸部バス実証運行を継続する。各種調査に基づき適宜見直しを行い、生活交通の利便性向上と持続可能な交通体系の構築を目指す。また、廿日市さくらバスの広島総合病院乗り入れのためロータリーを改修する。
- ・バスロケーションシステム導入支援
広島県バス協会が行う民間路線バス及び自治体の自主運行バスへのバスロケーションシステム導入の支援を行い、バスを含む公共交通利用者の利便性の向上を図る。
※ 平成27年度は市内民間路線バス及び市自主運行バスへの端末の設置ならびに市内交通結節点へのバス停表示機設置に対して補助を行う。
- ・事業費関連
【歳入】
生活交通路線維持費(県)補助金3,500千円
自主運行バス関係自治体負担金1,000千円 佐方地区運行に係る広島市負担金
JA広島総合病院ロータリー改修工事費負担金648千円
計5,148千円
【歳出】
公共交通協議会及び交通会議事務費226千円 委員報償、費用弁償等
生活交通再編支援業務委託料3,910千円 沿岸部運行計画等
廿日市さくらバス運行負担金38,453千円
おおのハートバス運行負担金24,701千円
バスロケーションシステム整備補助金3,170千円
JA広島総合病院ロータリー改修工事1,296千円
計71,756千円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	28,594,775	48,212,000	71,756,000	
	国庫支出金				
	県支出金		3,400,000	3,500,000	
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)		700,000	1,648,000	
	市（市税など）	28,594,775	44,112,000	66,608,000	
	人件費(按分) B	1.80 人 15,274,800	1.78 人 15,149,580	1.78 人 15,395,220	
	総事業費(A+B)	43,869,575	63,361,580	87,151,220	
単位 換算 コスト	①人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり	373	538	744	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考	
活動 成果	市自主運行バス路線数	路線	8	8	8		
	市自主運行バス利用者数	人	317,230	390,000	400,000		